

第1回長野市総合計画審議会作業部会 教育部会 会議概要

日 時：平成17年10月18日（火）

午後1時30分から

場 所：第一庁舎8階 第三委員会室

【自己紹介】 各部会員から一言

- ・対立や自分の主張を貫くというより、和やかに思ったことが話せる雰囲気になって議論がうまくいって今後につながる形になればよいと考えている。
- ・文化の振興が地域を元気にするには大切なことだと考えている。文化面において今までにない計画ができれば。と考えている。
- ・学校・地域・保護者の連携という視点から発言できればと思っている。
- ・青少年のために地域が主体的に関わっていかなくてはいけない時代だと考えている。
- ・長野を離れたことでわかる感覚、塾講師の経験、市民カレッジを受講して感じたことなど意見できればと思う。
- ・地域の教育力の充実が大切だと考えている。
- ・スポーツの関係について主に話したいと考えている。

【事務局から第1回長野市総合計画審議会資料及び施策の現況と課題について説明】

部会員 第三次の教育に関する部分のテーマは何か？

事務局 資料として示している「伸びやかに学び躍動する生涯学習のまち」である。第四次については、また新たなものを決めていただきたい。

部会員 児童館など、現行の枠の中には収まらないけれど、関連性があると考えられる分野についてはどのように扱ったらよいのか。

事務局 現在示している分野に限定せず、自由に議論していただきたい。
委員の皆様から意見をいただき、枠組みなどについては今後の議論の中で決めていきたい。

部会員 生涯学習のまちを実現する過程、また、子供達が育っていく過程では、様々なことが関わってくるため、枠にこだわることなく、自由に討議して良いということ。

部会員 現況と課題（詳細版）を読むと、総合的であり、現実的にやっていかななくてはならない内容である。第四次の中で、特に重点的に考えていきたいことがあれば、今後の議論がやりやすくなるが、どのように考えているのか。

事務局 教育施策についての論点については白紙である。

作業部会の中で十二分に議論いただきたい。

総合計画の性格上、大きな捉え方となるのは仕方がないことである。

部会員 各委員が意見を出し合って作っていくということが大事なことだと思う。

【事務局からワークショップの開催について説明】

- 部会員 出席しないテーマについても意見がある場合には、宿題シートを記入して預ければよいのか。
- 事務局 ワークショップ後、各グループに発表をしていただき、意見交換をしていただく。意見がある場合には、意見交換の中でお願ひしたい。

【その他意見】

- 部会員 今後2年間の流れがわかりにくい。基本構想はどの程度作っていくことになるのか。
- 事務局 第三次総合計画でいうと、計画書の177ページのような内容を作成していただく。スケジュールとしては年度内に基本構想部分を作成いただく予定。
- 部会員 ワークショップで出る意見を年度内にまとめていくということか。来年度からの基本計画大綱を作る過程では、学校教育はどのようにしよう。などという議論をしていくということか。
- 事務局 基本構想作成と並行して、2月からは基本計画大綱の骨子についても入っていくことになる。
- 部会員 ワークショップの中では、各委員が問題意識を持っていることに対して、実現不可能なことであっても提案して良いのか。
- 事務局 ワークショップの中で、第四次総合計画の方向性が見えてくるのではないかと考える。
- 部会員 (ワークショップでは)基本計画大綱をあまり意識しなくてもよいのか。
- 事務局 それはよい。
- 部会員 自分が不得意な分野については、要求すれば資料はいただけるのか。
- 事務局 作業部会の中で欲しい資料があるということがあれば、提供していきたい。
- 部会員 生涯学習といっても広い分野になるので、概念を理解しておくためにも、次回までに、生涯学習基本構想・基本計画を用意していただきたい。
- 事務局 次回の作業部会では、全員分用意しておく。

以上